中　水　経　第　18　号

令 和 元 年 度 5 月 29 日

中津川市長　様

環境水道部長　髙橋　淳一

業務状況説明書の提出について

中津川市水道事業の設置等に関する条例第7条の規定による業務の状況を説明する書類の作成のため、別紙のとおり報告します。

記

１．平成30年度　下半期業務及び経理の状況

２．令和元年度　予算の概要及び経営方針

＊＊＊業務状況説明書＊＊＊

環境水道部　水道経営課

平成30年度　下半期業務及び経理の状況

下半期における業務状況は、配水量約５，７６２千㎥（内訳　自己水約２，２６８千㎥　県水約３，４９４千㎥）でした。

また、1日平均配水量は、約３１，６５８㎥となり、有収水量については、約４，４１４千㎥となりました。

簡易水道事業を統合したことで費用が大幅に増え経営を圧迫し、また、給水を取り巻く状況は人口減少や節水型機器の普及などにより有収水量の大幅な伸びは期待できない中ではありますが、平成３０年度決算は、１８，８５４千円の純利益となりました。

厳しい経営状況ではありますが、今後も長期的な収支計画を策定し、安全で安心な水の安定供給と効率的な企業運営に努めます。

また、老朽化や経年劣化した施設の更新、さらに災害に強い水道施設の構築のため、管路耐震化工事を進め、水道水の安定供給を目指します。

平成30年度　中津川市水道事業会計損益計算書　（税抜き）

（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

（単位:円）

1 営業収益		
（1）給水収益	1,729,139,736	
（2）受託工事収益	0	
（3）その他の営業収益	55,532,311	1,784,672,047
2 営業費用		
（1）原水及び浄水費	745,011,566	
（2）配水及び給水費	375,145,884	
（3）受託工事費	0	
（4）総係費	165,030,063	
（5）減価償却費	710,055,513	
（6）資産減耗費	63,694,802	2,058,937,828
営業利益		△274,265,781

（単位:円）

３ 営業外収益			
（1）受取利息及び配当金	211,239		
（2）他会計負担金	50,042,000		
（3）長期前受金戻入	302,755,123		
（4）雑収益	1,164,577	354,172,939	
４ 営業外費用			
（1）支払利息及び企業債取扱諸費	57,488,689		
（2）雑支出	4,400,572	61,889,261	292,283,678
経常利益			18,017,897
特別利益			836,403
特別損失			0
純利益			18,854,300

平成30年度　中津川市水道事業会計貸借対照表　（税抜き）

（平成31年3月31日）

資　産　の　部

（単位:円）

1　固定資産				
（1）有形固定資産				
イ 土地		173,720,129		
ロ 建物	364,838,844			
減価償却累計額	121,411,124	243,427,720		
ハ 構築物	21,230,828,481			
減価償却累計額	7,132,200,806	14,098,627,675		
ニ 機械及び装置	1,913,924,641			
減価償却累計額	934,764,401	979,160,240		
ホ 車両及び運搬具	18,610,187			
減価償却累計額	15,153,605	3,456,582		
ヘ 工具器具及び備品	36,074,833			
減価償却累計額	17,891,077	18,183,756		
ト 建設仮勘定	52,903,500	52,903,500		
有形固定資産合計			15,569,479,602	
（2）無形固定資産				
イ 電話加入権		9,800		
ロ 施設利用権		103,046,387		
減価償却累計額		47,912,040		
無形固定資産合計			55,144,147	
（3）投資その他の資産				
イ 出資金		308,700		
投資その他の資産合計			308,700	
固定資産合計				15,624,932,449

（単位:円）

２ 流動資産			
（１）現金預金		1,342,488,842	
（２）未収金		234,776,181	
貸倒引当金		△1,375,578	
（３）貯蔵品		5,425,364	
（４）前払金		48,680,000	
流動資産合計			1,629,994,809
資産合計			17,254,927,258

負債の部

３ 固定負債			
（１）企業債			
イ 建設改良費に充てる企業債	2,921,423,358	2,921,423,358	
（２）引当金			
イ 退職給与引当金	110,243,892		
ロ 修繕引当金	44,569,723	154,813,615	
固定負債合計			3,076,236,973

（単位:円）

４　流　動　負　債		
（１）企　　業　　債		
イ 建設改良費に充てる企業債	290,457,850	
（２）未　　払　　金	391,766,970	
（３）預　　り　　金	1,802,127	
イ 賞　与　引　当　金	6,002,667	
ロ 法 定 福 利 引 当 金	1,020,453	
流 動 負 債 合 計		691,050,067
５　繰　延　収　益		
（１）長　期　前　受　金		
イ 国 庫 （ 県 ） 補 助 金	2,115,862,885	
ロ 受 贈 財 産 評 価 額	855,249,579	
ハ 工　事　負　担　金	7,091,770,367	10,062,882,831
（２）長期前受金収益化累計額		
イ 国 庫 （ 県 ） 補 助 金	833,479,871	
ロ 受 贈 財 産 評 価 額	308,268,372	
ハ 工　事　負　担　金	3,330,325,070	4,472,073,313
繰 延 収 益 合 計		5,590,809,518
負　　債　　合　　計		9,358,096,558

資　本　の　部

（単位:円）

６ 資　本　金		7,053,764,309	
資　本　金　合　計			7,053,764,309
７ 剰　余　金			
（1）資　本　剰　余　金			
イ 国庫（県）補助金	8,591,708		
ロ 受贈財産評価額	991,074		
ハ 工　事　負　担　金	37,031,968		
資本剰余金合計		46,614,750	
（2）利　益　剰　余　金			
イ 当年度未処分利益剰余金	796,451,641		
利益剰余金合計		796,451,641	
剰　余　金　合　計			843,066,391
資　本　合　計			7,896,830,700
負債資本合計			17,254,927,258

令和元年度予算概要

（収益的収入及び支出）

収　　入

科	目	予定額
第１款	水道事業収益	2,253,492 千円
第１項	営業収益	1,945,264 千円
第２項	営業外収益	308,227 千円
第３項	特別利益	1 千円

支　　出

科	目	予定額
第１款	水道事業費用	2,233,000 千円
第１項	営業費用	2,153,848 千円
第２項	営業外費用	59,151 千円
第３項	特別損失	1 千円
第４項	予備費	20,000 千円

（資本的収入及び支出）

収　　入

科	目	予定額
第１款	資本的収入	846,517 千円
第１項	企業債	521,000 千円
第２項	出資金	92,237 千円
第３項	工事分担金及び負担金	137,453 千円
第４項	受託金	95,826 千円
第５項	固定資産売却代金	1 千円

支　　出

科	目	予定額
第１款	資本的支出	1,719,938 千円
第１項	建設改良費	1,229,480 千円
第２項	企業債償還金	290,458 千円
第３項	投資	200,000 千円

（資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額　873,421　千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額　79,454　千円及び過年度損益勘定留保資金　793,967　千円で補てんするものとする。）

令和元年度　中津川市水道事業経営方針

水道水の安定供給は水道事業の使命であり、そのために必要な施設の新設、経年劣化した施設の更新等を「中津川市水道事業経営戦略」に基づき進めています。また、水道事業経営の健全化を目指し、今後の経営の在り方を「中津川市上下水道事業経営審議会」で審議・答申いただき、経営戦略の３年後の見直しにも反映し、経営改善を進めていきます。

有収水量の増減に関しては、リニア中央新幹線岐阜県駅の建設、それに伴う開発、企業誘致等による給水量の増加は見込めるものの、節水意識が浸透する中、給水人口の減少もあり、水道水の大幅な需要拡大は期待が持てない現状にあります。

このような状況の中で、配管図作成業務や漏水調査等を行い、老朽化した管路等の計画的な更新を進め、有収率の改善を図るとともに水道施設の耐震化を進め、災害に強く、安全で安定した品質の水道水を供給し、健全な経営を続けて行く努力をします。

また、経費削減のために、下水道工事など他事業の工事に合わせて耐震化工事を進めることで工事費の効率的な執行を図るとともに、官民連携によって民間の技術・知識を活用し、料金徴収関連業務、施設運転維持管理業務、各種計画策定業務等を委託することで水道事業の効率化、経営基盤の強化を行います。